



27日（金）、南下浦小学校の全校児童が、毎年恒例の海岸での砂工作に取り組みました。

学校を出発した子どもたちは、砂浜を、上宮田の海岸まで歩いていきました。

活動場所に到着すると、1年生から6年生までの縦割りでグループを作り、砂工作に取り組み始めます。AからHまでの8グループに分かれ、事前に3回ほど話し合いをして決めた、自分たちのデザイン（イルカ、ラッコ、ウミガメ、オオグソクムシなど）に合わせて作っていきます。リーダーである6年生が中心になって、黄色い帽子の1年生まで、必死に、しかも楽しそうに作っていきます。子どもたちに感想を聞いても、「楽しい」という声が、あちこちから聞こえてきました。

そして、いよいよ完成すると、グループごとに作品と一緒に写真を撮っていきます。ここでは、右の2つの作品を紹介します。

1年生から6年生までが、協力して作品を作り上げる取り組みによって、上級生の責任感やリーダー性も育つ素晴らしい取り組みでした。

海岸には、ハマヒルガオ？が咲いていました。



旭小学校では、先日の、矢作海岸への遠足の時に捕まえた、小さなハゼやヤドカリを水槽で飼っているということで、取材に行ってきました。

本研究所から配布したエアバケツが威力を発揮した結果、海岸から学校まで、弱らせずに運ぶことができました。現在もたいへん元気に泳いでいます。

昼休みに伺いましたが、子どもたちが水槽に顔を近づけて観察している様子が、あちこちで見られました。日常生活の中で、海の生き物への興味・関心が育っているようです。



（文責 事務局長 渋谷）

3月1日より先生方のPC上に、「海洋教育カリキュラム一覧」というリンクアイコンが存在しています。海洋教育カリキュラムを投稿、閲覧可能なイントラネットサイトです。ぜひご活用ください。

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで